

一人1実践の記録

(6)年 活動名 メディアを学ぼう

実践者 稲田小学校 佐藤 拓

1.平成 18年 12月

2.ねらい

- ・国語「インターネットと学習」を読み、情報を集めたり発信したりする手段と注意点を知る。(国語)
- ・NHK学校放送番組「ネット社会の道しるべ」を視聴し、情報社会への自分の関わり方についての考えを持つことができる。(情報社会に参画する態度)

3.活動の流れ

活動及び取り組みの流れ	支援
<p>これまで、インターネットをどのように利用してきたかを考える。</p> <p>C「何かを調べることに使ったよ」</p> <p>C「言葉を入れると、いろいろなホームページがでてくよね」</p> <p>C「メールで知りたいことを聞いたり、教えてくれるよ」</p> <p>C「チャットでお話をしたよ」</p> <p>国語「インターネットと学習」を読み、インターネットの世界の特徴や問題について知る。</p> <p>C「いろいろな情報を知るだけでなく、ホームページや電子メールで発信することもできるんだね」</p> <p>C「いろいろな人と交流し、仲良くなることもできるんだね」</p> <p>T「でもいいことばかりでもなさそうだよ。使うときの注意点は？」</p> <p>「ネット社会の道しるべ」を視聴し、自分とメディアの関わり方について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの中で、ネット利用の経験に差はあるが、自分が使って便利だったことを中心に発表させる。 ・どんなことで使っているか、大まかな傾向がわかるようにしていく。 ・他のメディア(図書、新聞など)と比べながら、インターネットでの情報の特徴について考える。 ・情報を得るだけでなく、発信する場としてのインターネットの世界があることを知る。 ・メール、掲示板、ブログなど、特にコミュニケーションツールとしてのパソコンやケイタイと自分との関わり方について考えるようにする。

4.この取り組みによって、子どもにどのような変化(成果)がありましたか。

教科書では、情報の取捨選択をしっかりとっていくことをねらった単元である。この中で番組を視聴させることにより、自分と情報の関わり、特にメディアとの自分との関わりについて考えることができた。